

# 「土佐日記」から「顔の識別」まで

## 日本文学科・国際文化学科心理学コース

金沢学院大学文学部日本文学科と国際文化学科心理学コースの卒業論文発表会が2月10日と12日にそれぞれ3号館で開かれました。

日本文学科では、4人の学生が壇上に立ち、江戸時代人の「土佐日記」を観や「ひろすけ童話」に描かれた動物の考察、太宰治の「女生徒」論、日本語会話指導での教師の役割について発表しました。



# 独自の視点で研究成果発表

## 短大ふるさと文化・ビジネス文化コース

金沢学院短期大学生活デザイン学科ふるさと文化・ビジネス文化コースの卒業研究発表会が2月10日、4号館講堂で開かれ、16人の学生が独自の視点で研究を重ねてき

## 短大生による研究発表

4号館講堂

た成果について発表しました。テーマは金沢の茶道、金沢の婚礼、辰巳用水、江戸時代の化粧文化、北陸3県の方言、地球環境問題など幅広く、学生はスクリーンを使って分かりやすく説明しました。

心理学コースでは、学生5人が発表に臨みました。顔を識別する上で

の目の重要度や、自分への関心の高さについての年代別比較などをテーマに研究成果を報告しました。



日本文学科の卒論発表会



心理学コースの卒論発表会

## 留学生と懇談

金沢学院大学文学部国際文化学科の第18回留学生と語る会は2月12日、3号館で開かれ、学生約20人が留学生と楽しく懇談しながら、英会話に磨きをかけました。チェコ、インドネシア、

エジプトからの留学生3人が、自国の文化や食べ物、地理などについて紹介した後、3つのグループに分かれて学生からの質問に答えました。

## 母国を紹介する留学生

3号館教室



## 美しいハーモニー披露

## 大学・短大合唱部が発表会

金沢学院大学・短期大学合唱部の第20回定期演奏会が1月30日、金沢市アートホールで開かれ、部員ら17人が美しい歌声で約150人の聴衆を魅了しました。

部員のほか、OB、OGらが友情出演し、合唱部顧問の山瀬泰吾短大講師が指揮、ピアニストの廣田智美さんが伴奏を務めました。学生らは校歌、学生歌を皮切りに「クラシック」「ポップス」「混声合唱曲集」の3ステージを披露しました。



美しいハーモニーを響かせた発表会

金沢市アートホール

## 華道部員が「春」生ける

金沢学院大学・短期大学華道部の華展写真展が2月11日、12日、金沢市のANAクラウンプラザホテル金沢で開かれ、10点の生け花がロビーを華やかに彩りました。学生らは廣岡紫穂県いけばな文化協会理事長と三口理芳さんから指導を受けています。会場には春の息吹を感じさせる菜の花や桃、カーネーション、アイリス、バラなどが生けられ、来場者の目を魅了しました。



## 東高生、体験講義を受講

金沢学院東高校の2年生295人が2月15日、金沢学院大学と金沢学院短期大学で体験講義を受け、今後取り組む進路決定の参考にしました。